LED-AC2020

# 10W×2 LED センサーライト 取扱説明書

この度は、RITEX 10W×2 LED センサーライト をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

**注 意** 気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間をおいて再度ご確認ください。

## 1. 部位説明

### 本 体



**赤色LEDの表示状態**
・待機時は約5秒に1回点滅
・センサー探知時は高速点滅

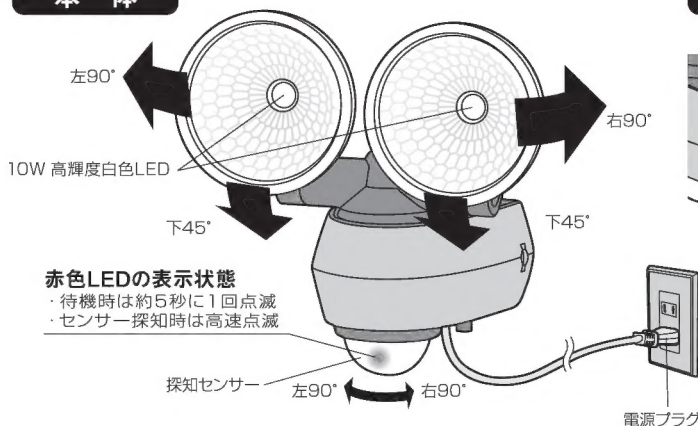
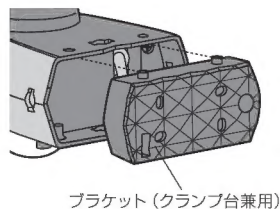
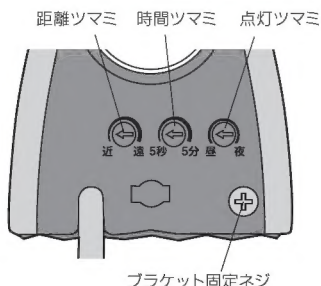
### 本体裏面



### 底面から見た調節操作部



### 付属品

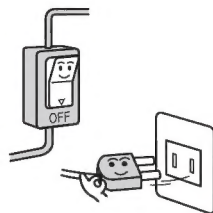
- 電球色レンズ ×2個
- L型ボルト ×1本
- プラスチック製プラグ ×2本
- 蝶ナット×1個
- ネジキャップ×1個
- 取付けネジ ×2本

## 2. 仕 様

| 品　名 | | 10W×2 LED センサーライト |
| --- | --- | --- |
| 品　番 | | LED-AC2020 |
| 電　球 | | 10W高輝度白色LED　設計寿命約40000時間　全光束　約1660ルーメン |
| 電源／電圧 | | AC100V　50/60Hz |
| 消費電力 | | 20W (待機時　1W) |
| センサー | 探知方式 | 焦電型赤外線センサー |
| | 探知範囲 | 約360°・最長約前8m　後1m　左右3m |
| 点灯ツマミ | | 昼～夜 |
| 時間ツマミ | | 約5秒～約5分 |
| 探知距離ツマミ | | 遠～近 |
| 電球色レンズ | | 装着時：約1140ルーメン |
| 電源コードの長さ | | 約3m |
| 本体サイズ | | 約幅155mm、厚128mm、高154mm (クランプ除く) |
| 重　量 | | 約590g (クランプ除く) |
| クランプ取付けサイズ | | 厚み／最小約15mm～最大約100mm |
| | | パイプ径／最小約30mm～最大約85mm |
| 設置場所 | | 屋内・屋外用 (防雨タイプ IP-44) |

※LED球は交換できません。
※LED球の寿命は設計寿命であり保証するものではありません。

## 3. ⚠警 告

### ①電源はコンセントから取ってください。

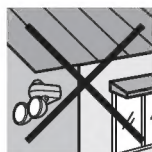
・電源は家庭用100V専用です。
・屋外のコンセントは防雨型を使用してください。
・電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。
※漏電、停電後等の再調節で電源を切る必要があるためです。
但し、電源工事による本機の不具合の責任は負いかねます。

### ②取付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。

・燃えやすい物や引火しやすい物の近くには取付けないでください。
・昼でも本体に物（布団や布等）を被せると点灯し引火する危険があるのでしないでください。

### ③屋外に取付ける場合は

・本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けないでください。
※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。

### ④火傷に注意してください。

・点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので触れないでください。

### ⑤屋内・屋外に関係なく本体は斜め向き、下向き、逆さまには絶対に取付けないでください。

### ⑥本機を分解や改造しないでください。

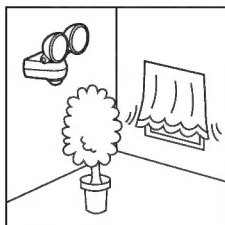
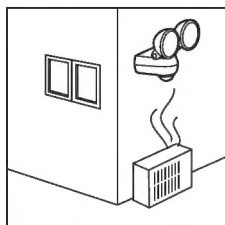
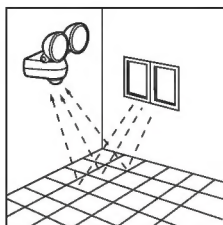
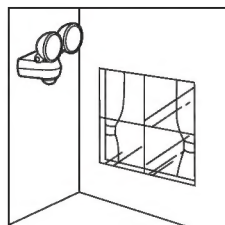
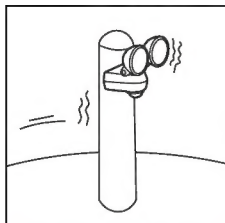
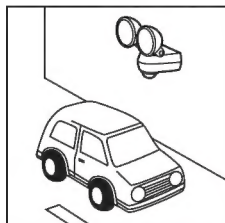
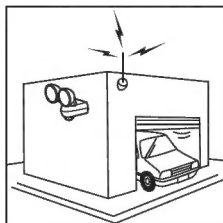
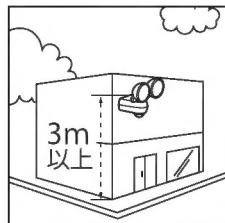
### ⑦電波を出す器具の近くには取付けないでください。

・電波を出す器具や本機が誤動作するときがあります。

### ⑧点灯中はLEDライト部を直視しないでください。目を痛めるおそれがあります。

※本機は本格的な防犯機器ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

# 4. 取付け前の注意

センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や作動しないときがあります。

風などでゆれる植物やカーテン等の近く

エアコン等の送風を受ける場所

大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所

ガラスや壁ごしの場所

強い振動を受ける場所

車の通る道路に面した場所

電波の強い場所

取付け高さが3m以上の場所

# 5. センサーの探知範囲

■センサーは、最長約前方8m/後方1m/左右3m×360°の範囲で動く人や車を探知します。

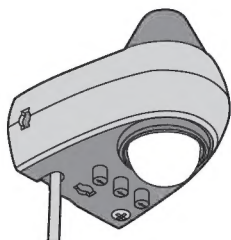
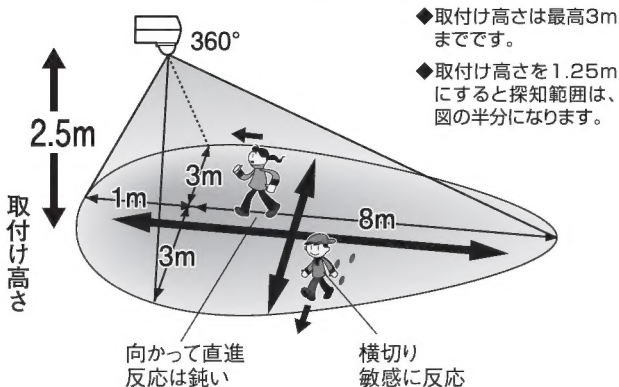
※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。
図1の条件に合う場所に取付けてください。

※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

・取付け高さが2.5mの場合の探知範囲です。

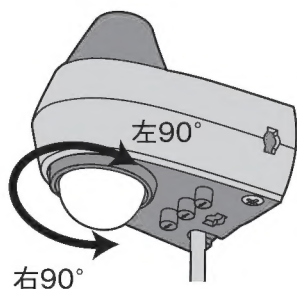
・取付け高さは最高3mまでです。

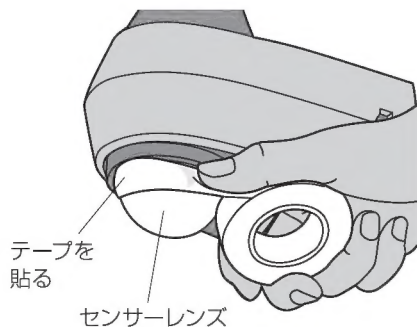
・取付け高さを半分にすると探知範囲は、図の半分になります。

## 探知範囲 図1 最長約前方8m/後方1m 左右3m×360°

## センサー左右角度調整

探知したい方向にセンサーを向けます。

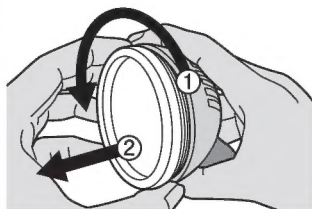
## 探知距離を短くする

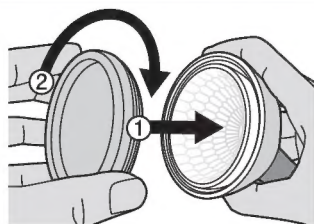
通常は「**遠**」で使用します。
誤作動が多い場合は「**近**」に少しずつ回し、その都度必要とする感度距離を確認し、調節してください。

## 探知範囲を狭くする

・探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明か白色のビニールテープを添貼付します。(セロハンテープは薄いので2重に貼ってください)
・上面に貼付すると探知距離が短くなります。
・側面に貼付すると探知角度が狭くなります。
※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されていますので色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯を開始する場合があります。

# 6. 電球色レンズの取付け方

透明レンズから電球色レンズに交換すると白色が電球色に変化します。

⚠注意　レンズを交換する際は必ず電源プラグを外してから行ってください。また点灯直後はランプカバーが熱くなっていますので、冷やしてから行ってください。

### 1.透明レンズの取外し方

ライト後部を手でしっかり握りながら透明レンズを指でつまみ、反時計回りに緩めて外します。

### 2.電球色レンズの取付け方

ライト後部を手でしっかり握りながら電球色レンズをしっかり最後まで時計回りに締め付け取付けます。

### ⚠注意

※ライト後部を握らずレンズを交換すると本体が破損する恐れがあります。

※交換したレンズの締め付けが緩いと雨水がランプ内部に入る恐れがあります。

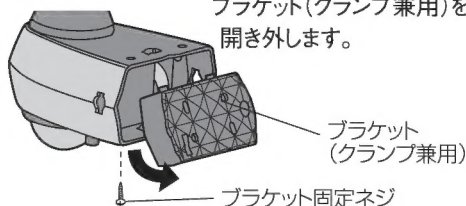
※透明レンズの交換をする際も同じ要領で行ってください。

※反射板が外れた時は外周の溝をランプに合わせ取付けてください。

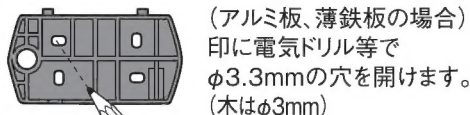
# 7. 本体の取付け方

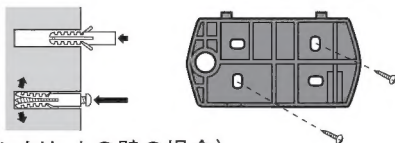
## ブラケット（クランプ台兼用）で壁に直接の取付け方

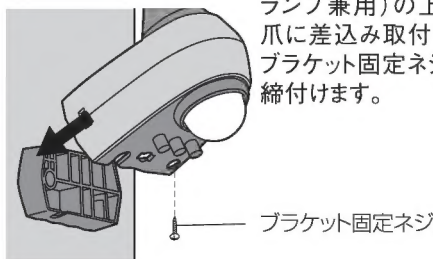
① ブラケット固定ネジを外し、ブラケット（クランプ兼用）を開き外します。

ブラケット（クランプ兼用）

ブラケット固定ネジ

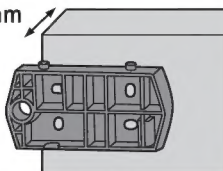
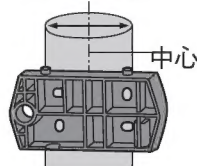
② 鉛筆等をブラケット（クランプ兼用）の穴に通し、壁等に印を付けます。

（アルミ板、薄鉄板の場合）
印に電気ドリル等でφ3.3mmの穴を開けます。
（木はφ3mm）

③

（コンクリートの壁の場合）
振動電気ドリル等でφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。付属の2本の取付けネジでブラケット（クランプ兼用）を取付けます。

④ 本体をブラケット（クランプ兼用）の上の爪に差込み取付け、ブラケット固定ネジを締付けます。

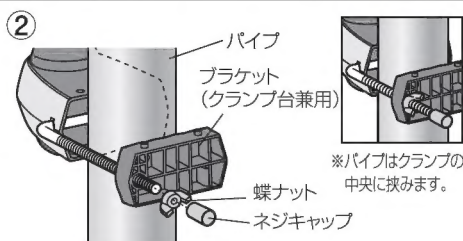
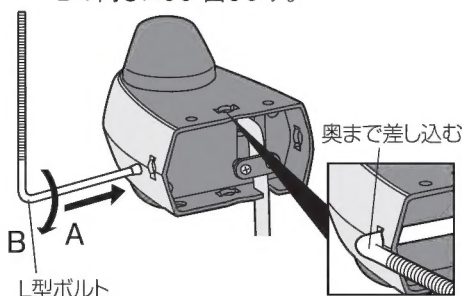
ブラケット固定ネジ

## クランプで挟む取付け方 ブラケット(クランプ台兼用)を使用

⚠注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

・本体からブラケット(クランプ台兼用)を取外してクランプとして使用します。

角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。

丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

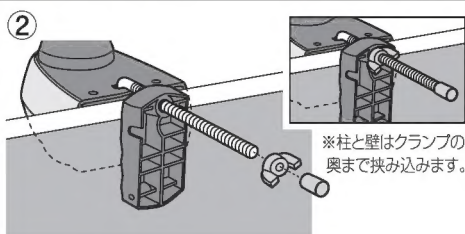
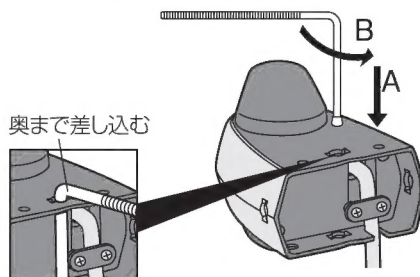
### 縦向きの柱、パイプの場合

① L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°回します。

②

L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、ブラケット(クランプ台兼用)を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

### 横向きの柱の場合

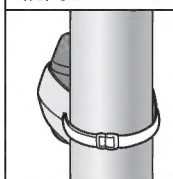
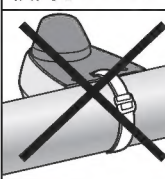
① L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°回します。

②

L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、ブラケット(クランプ台兼用)を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

## 市販のステンレスバンドでの取付け方

**市販のステンレスバンド（幅10mm）を、ブラケットの左右の穴に通して取付けることもできます。**

縦向きのパイプには取付けできますが、横向きのパイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるので取付けないでください。

縦向きのパイプ

横向きのパイプ

## 8. センサーのテスト動作

| ・時間ツマミを「5秒」に回す<br>・点灯ツマミを「昼」に回す | ・電源を入れる | ・センサー探知範囲に入り、すぐに出る |
|---|---|---|
|     | 点灯 ▶ 消灯<br>約30秒点灯後に消灯 | 点灯 ▶ 消灯<br>約5秒後に消灯 |

**注 意** 点灯、消灯しない時は**“13.故障かなと思った時”**事項を参照してください。

## 9. センサーをお好みのモードに調節

### ①（点灯）明かりセンサー調節

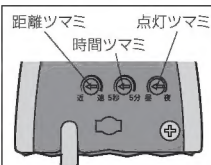
**「昼」周囲が明るくても暗くても点灯・「夜」周囲が暗い時のみ点灯**

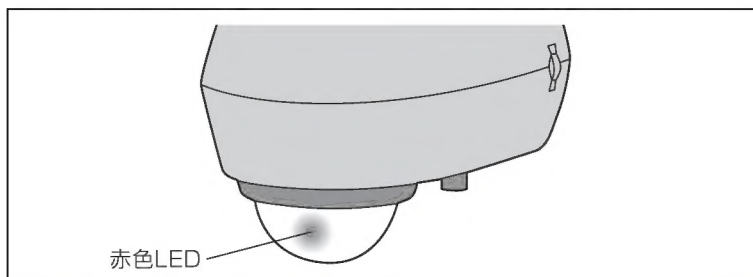
・点灯させる周りの明るさ調節は図1のようにツマミを「**昼**」～「**夜**」に回すことで、点灯を調節することができます。
※夜でも他の照明の光が当たる時は昼側に調節します。
※実際に点灯させたい周りの明るさの時に調節してください。

### ②（時間）タイマー点灯保持時間調節　約5秒～約5分

・点灯時間の調節は、時間ツマミを図2のように右へ少しずつ回し、その都度点灯時間を確認し、調節してください。
※ツマミ角度は時間と比例しません。
※センサーの探知範囲に入り、点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。
※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。

### ③（距離）人感センサー感度調節　近～遠

・感度の調節は、図３のように調節ツマミを「**遠**」へ回すと強くなります。通常は「**遠**」で使用します。誤作動が多い場合は「**近**」に少しずつ回し、その都度必要とする感度距離を確認し、調節してください。
※人以外にも動きのある熱源に探知しますので、小さな犬、クーラーの熱や熱風、太陽光の変化等に誤作動を少なくしたい時に調節します。また探知距離が短くなります。

# 10. 状態表示赤色LEDについて

センサーレンズの赤色LEDで本機の状態を確認します。

### ① 5秒に1回点滅

・電源が入っています。　⇒正常な待機状態です。

### ② 高速に点滅

・センサーが探知しています。⇒ライトLEDが点灯します。

※点灯ツマミを夜に調節で周囲が明るい場合はセンサーが探知するとライトLEDは点灯しなくても高速点滅します。

### ③ 点灯しない

・電源が入っていません。　⇒電源を入れます。

※太陽光で赤LEDが見え難い場合があります。

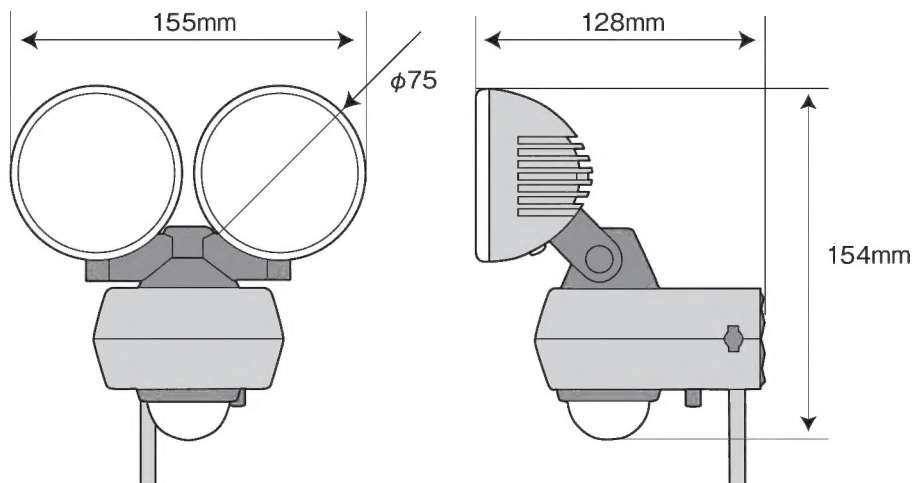
# 11. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。

本体をベンジンやシンナーや研磨剤で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。ひび割れ、引火、感電のおそれがあります。

本体の取付けネジやクランプは、年に1～2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

※本機は防水構造ではありません、散水ホース等での水洗いはしないでください。
故障や引火感電のおそれがあります。

## 12. サイズ

## 13. 故障かなと思った時

| 現　象 | 考えられる原因 | 処　置 |
|---|---|---|
| **点灯しない**<br>(赤色LEDが点滅しない) | 電源が入っていない。 | 電源プラグが抜けていないか確認する。<br>(家庭用コンセントに差す。) |
| **点灯しない**<br>探知範囲に人がいるのに点灯しない。<br>(赤色LEDが5秒に1回点滅する) | 距離ツマミが「**近**」になっている。 | 距離ツマミを「**遠**」に合わす。 |
| | 本機に向かって真っすぐ接近している。 | 探知範囲を調節する。<br>(センサーを探知させたい方向に向ける。) |
| | 探知部(センサーレンズ)が汚れている、蒸気や雨などの水滴が付いている。 | 探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。 |
| | 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている、手袋をしている。<br>外気温が35℃以上ある。 | 本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記の場合探知しにくい場合がある。 |
| **点灯しない**<br>周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない。 | 探知部に他の照明器具の光が入っている。 | 点灯ツマミを「**昼**」側に点灯するまで回す。<br>**"9.①(点灯)明かりセンサー調節"**参照。 |
| **消灯しない** | 時間ツマミが「**5分**」側に調節されている。 | 時間ツマミを「**5秒**」側に合わす。**"9.②(時間)タイマー点灯保持時間調節"**参照。 |
| **消灯しない**<br>(赤色LEDが高速に点滅する) | 探知範囲内に人がいる。<br>時間が延長され消灯しない。 | 探知範囲外に移動する。 |
| **消灯しない** | 回路が異常(エラー)状態にある。 | 電源プラグを抜き2分後再び差す。<br>(リセットして回路を正常状態に戻す。) |
| **昼なのに点灯する**<br>周囲が明るいのに | 点灯ツマミが「**昼**」側に調節されている。 | 点灯ツマミを「**夜**」側に点灯するまで回す。<br>**"9.①(点灯)明かりセンサー調節"**参照。 |

| 現　象 | 考えられる原因 | 処　置 |
| --- | --- | --- |
| **探知範囲に人がいないのに点灯する**<br>（赤色LEDが高速に点滅する） | 探知範囲内に誤動作源がある。<br>（例）・他の照明器具 ・エアコンの吹出口<br>・犬や猫などが動いている<br>・風などでよくゆれる物（看板、旗、植物等）<br>・車の熱やヘッドライト<br>・強いノイズ（無線ノイズ等）<br>**“4.取付け前の注意”**参照。 | 誤動作源を取り除く。（左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する。）<br><br>距離ツマミを「**近**」側に少しずつ回して確認する。 |
| | 探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを探知している。 | 探知範囲を規制する。**“5.センサーの探知範囲”**参照。 |
| | ライトがセンサー部を照らしている。 | ライトをセンサーから離す。 |
| **探知範囲に人がいるのに消灯する** | 電源を投入した直後（停電から復帰直後） | 電源投入時の初期動作を行っている。**“8.センサーのテスト動作”**参照。 |
| | 時間ツマミが「**5秒**」側に調節されている。 | 時間（タイマー）ツマミを「**5分**」側に設定する。**“9.②（時間）タイマー点灯保持時間調節”**参照。 |
| | 探知範囲内で人が静止している。 | 本センサーは静止している人には性能上探知できません。 |